

最先端技術と超小型ものづくりで世界トップレベルの抵抗器を開発

設立して50年近くとなるため、地元とのつながりも深く、技術者も地元の福井大学や福井高専から多く採用されている。スマートフォンなどに使われる超小型品を含む角形チップ固定抵抗器は、2013年で生産累計2兆個を達成。福井の「世界に誇るもの造りの技」のひとつとなっている。

事業背景

- 1966年、当時の部品事業の地方展開計画に応じ、地方工場の先駆けとして、福井松下電器の工場を設立し、抵抗器の生産を開始している。

【現在の地元企業との関係】

- 部材調達：3社（メッキ加工企業2社、総合商社（ケミカル系部材））
- 生産設備調達：6社
- 生産請負：3社

技術者の採用背景

- 技術者は地元採用の他、パナソニック全社から福井への技術者異動と専門職募集などによる。
- 技術者の地元比率：42%。福井大学、福井工業高等専門学校（福井高専）から積極採用をしている。

地域振興活動

■「『実は福井』の技」を制作

福井県として、県内企業の発展、地元学生の県内企業への就職等を目的に、県内企業の優れたものづくり技術を紹介する情報サイト、「『実は福井』の技」において、森田工場の商品で協賛（福井県地域産業・技術振興課の制作サイト）。

<http://info.pref.fukui.jp/tisan/sangakukan/jitsuwafukui/index.html>

<http://info.pref.fukui.jp/tisan/sangakukan/jitsuwafukui/mobile/026.html>

■森田地区で世界トップレベルの抵抗器を開発。

<オンリーワンの技術>

抵抗器は回路を流れる電流を調整する電子部品で、カーエシ、情報通信、産業機器分野に数多く搭載されており、森田工場から、この抵抗器を世界中へ供給。特に、大きさが0.4mm×0.2mm（米つぶの100分の1程の大きさ）の超小型角形チップ固定抵抗器は、独自の微細加工技術を駆使した新しい製造工法により開発。機器の小型化・高機能化に大きく貢献し、スマートフォン、携帯端末、デジタルカメラ、ゲーム機など身の周りの様々な機器に搭載されている。



福井県庁ロビーでの森田工場の角形チップ固定抵抗器の展示

パナソニック株式会社 デバイスソリューション事業部

〒910-8502 福井県福井市定正401 Tel.0776-56-8010

■従業員数：557名（2015/8/末現在）